

# 平成27年度 学校経営

## (1) 学校教育目標と目指す生徒像

本校の学校教育目標は、国から示された学校教育の目的や目標に基づき、生涯学習の立場に立った「足利市の教育目標」及び生徒や地域の実態、保護者や地域の願いなどを踏まえて設定されている。さらにその具体像を目指す生徒像として位置付け、国の教育改革の動向を見すえ、日々教育課程の改善に努めながら、保護者・地域の協力のもと、その実現に努めることとする。

### 学校教育目標 【めざす生徒像】

- 学びとる力 - 夢や希望をもち自ら学ぶ生徒
- 思いやる心 - 思いやりのある生徒
- たくましい体 - よりたくましく自分を磨く生徒

学びとる力 夢や希望をもち、自ら学び自ら考え、主体的に判断し行動する生徒  
思いやる心 人に対する深い理解といたわる心・励ましの気持ちをもって互いに尊重し合い、支え合う生徒  
たくましい体 心身共に健康で、最後までやり抜く気力や体力のある生徒

## (2) 学校経営方針

学校は楽しいところでなくてはならない。今日も学校に来てよかったと思えるところでなくてはならない。【めざす学校像】

・生徒にとり自己実現がはかれ、学んでよかった学校

- 5つの視点 「のびゆく」 ----- 楽しくわかる授業、伸ばす授業がある学校  
「あたたかい」 ----- 差別のない思いやりで満ちた学校  
「安全・安心」 ----- いじめ、暴力、不登校、交通事故限りなくゼロの学校  
「明るい」 ----- いつもあいさつが飛びかう、笑顔あふれる学校  
「潤いのある清潔感」 -- いきとどいた清掃、いきとどいた環境整備

・保護者、地域にとり信頼できる、風通しのよい開かれた学校

・職員にとりやる気と自信に満ちあふれたやりがいのある学校

これまで歴代校長が築いてきた本校の誇れる校風の継承と新しい校風・文化の創造を基本にすえて次の6つの経営方針のもと、楽しい学校づくりに取り組む。

- ① 学習指導要領の趣旨を十分踏まえ、特色ある教育課程の編成と学習指導の充実、改善に努める。
- ② 生徒を中心にすえた教育活動を常に展開する。
- ③ 師弟同行、共に育ち、いつも明るく生き生きとした学校を目指す。
- ④ 日々の着実な教育実践を積み上げ開かれた学校のもと家庭、地域との信頼関係をより確実にし相互補完、連携を図る。
- ⑤ 全職員が学校経営に関わり教職員相互の信頼、協力、感謝を大切にする。
- ⑥ 教師の教育への情熱・使命感、豊かな人間性、専門性を基盤とした実践的指導力の向上をはかる。

## (3) 学校課題

「自ら学ぶ意欲をもち、よりよく課題を解決する力を身に付けた生徒の育成」

これからの社会の動向及び本校の生徒の実態をみたとき、本校生徒に求められるものは生涯にわたって力強く生きていくための基礎を身に付けることである。具体的には生きてはたらく知識や技能、思考力、判断力、表現力、学習意欲、いわゆる「生きる力」の「確かな学力」を身に付けることである。この力を「自ら学ぶ意欲をもち、よりよく課題を解決する力」とし、特に学業指導に力を入れ、本校のあらゆる教育活動をとおして育成していきたい。

## (4) 努力目標

学校教育推進に当たり、次の14項目を努力目標として掲げ、一人一人の生徒のもつよさや可能性が発揮される教育活動を展開する。 ◎は平成27年度重点項目

- |   |  |
|---|--|
| ア 安全、安心で創意ある学校運営の推進に努める。「あしかがっ子学びのすすめ」の活用   | ク 保健・安全指導の徹底に努める。                        |
| イ 職員研修の充実に努める。                              | ◎ ケ 人権教育の推進に努める。                         |
| ウ 学級経営の充実に努める。                              | コ キャリア教育の充実に努める。                         |
| ◎ エ 学習指導の充実に努める。<br>(学業指導による集団づくり、土曜日の有効活用) | サ 国際理解教育の推進・環境教育の充実に努める。                 |
| オ 特別活動の充実に努める。                              | シ 特別支援教育の充実に努める。                         |
| カ 道徳教育・情操教育の充実に努める。                         | ◎ ス 家庭・地域との連携強化に努める。<br>(地域教材及び人材の発掘と活用) |
| ◎ キ 積極的な生徒指導に努める。(小中連携の推進)                  | セ 部活動の活性化                                |

なお、展開に当たっては教育における不易と流行を見極め、次の3点を【推進上の基本的視点】とする。

- 個への着眼 自己の確立が図れるよう支援するために、子どもの事実を直視することから始める。
- 人間関係づくり 共に学び、共に生きる豊かな社会的関係を育むために、豊かな人間性を育成する。
- 主体的な生き方 社会の変化の中で、進んで考え学び生活する主体的な意欲・姿勢・態度を育成する。